

ニューヨークを キーワードにつながる 現代ジャズの最前線を 駆ける精鋭たち！ 横濱JAZZ PROMENADE ——外伝

JAZZ for the future!

現地のクラブシーンで認められ、長年ニューヨークを拠点に活動する横浜出身のギタリスト、アキラ・イシグロが、日本人として初めてブルーノート・レコードに凱旋！の粋を超え世界的な活躍をみせる黒田卓也をフィーチャーし横浜に凱旋！イシグロとともにニューヨークで交流を深めたメンバーが集結。現在それぞれに活躍をみせる6人が、互いの創造性、音楽性をぶつけ合いながら、高次元のケミストリーを引き起こし、圧巻のミュージシャンシップによる極上のサウンドを聴かせてくれます。

横濱JAZZ PROMENADE 2021は残念ながら中止となりましたが、私たちは「横浜のジャズの灯を絶やさない」「JAZZで横浜を元気にしたい」との想いから、「JAZZ for the future!」と題して、未来へ踏み出す一歩となる音をお届けします。



アキラ・イシグロ Akira Ishiguro (g)

日系アメリカ人ギタリスト。パークリー音楽大学でジャズの演奏と作曲を学び、2006年に卒業。ニューヨークのジャズ・シーンで活躍している。55Bar、ブルーノート、Smallsなどに出演し、これまでにマイロン・ウェルデン、ネイト・スミス、アリ・ホーニグ、マーク・キュリアナ、マリア・シュナイダー、ジェイソン・リンドナー、ヘンリー・ベイ、ウィル・ヴァンソン、ジョン・ゾーン、ジョージ・ガズーン、クリスチャン・マクブライド、ジョー・マーティン、マット・ベンマン、シマス・ブレイク、ジョン・エリスなどと共演している。日本、チリ、コスタリカ、カナダ、そしてヨーロッパの多くの国でツアーを開催。リーダーまたは共同リーダーとして6枚のアルバムをリリース、20以上の作品に出演している。2009年のモントルー・ジャズ・フェスティバルのギブソン・ギター・コンペティションにて「パブリック・チョイス」第1位及び総合第2位、2013年のウィルソン・センター・ギター・フェスティバル・アンド・コンペティションにてグランプリを受賞。

黒田 卓也 Takuya Kuroda (tp)

1980年、兵庫県生まれ。ニューヨーク在住。12歳からトランペットを始め、中学・高校・大学を通してビッグバンドに所属。2003年に渡米し、ニュースクール大学ジャズ科に進学。在学時からSmalls、Blue Note New Yorkなどの有名クラブに出演するなど、精力的に活動。卒業後もニューヨークを拠点に活動し、2010年には自身初のリーダーアルバム「Bitter And High」をリリース。2011年にリリースした2枚目のアルバム「Edge」は JAZZWEEK.COMのTOP50 JAZZ ALBUMSで3位にランクインし、アメリカ最大のラジオ局National Public Radioでは「ディジー・ガレスピーを彷彿」と大絶賛される。その頃にシンガー、ホセ・ジェイムスと出会い「Black Magic」に参加、正式にホセのバンドメンバーとして世界ツアーに同行、アルバム「No Beginning No End」のホーンアレンジを担当する。

2014年には名門ブルーノートと日本人としては初の契約を果たしメジャーデビュー作「Rising Son」。2016年には西海岸の老舗メジャーレーベルより「Zigzagger」を発表。また、日本国内では報道ステーションの新テーマ曲をニューヨークで活躍する日本人グループ、J-Squadのメンバーとして担当。2020年には6枚目のアルバムとなる「Fly Moon Die Soon」を発表し、アメリカの音楽メディアPitchforkで高評価、またBandCampの2020年9月の月間ベストアルバムの一位に選ばれる。

国内ではアルバムのシングル曲「Do No Why」がダイハツ トールのCMに使われ話題に。ジャズの枠を超えた幅広い音楽性から、DJ Premier、JUJU、CERO、MISIAなど様々なアーティストとのコラボレーションを展開している。



小田桐 和寛 Kazuhiro Odagiri (ds)

神奈川県出身。音楽一家で育ち、国立音楽大学演奏科打楽器専攻。国立音楽大学ニュータイド・ジャズオーケストラでドラムを担当、2010年の41回公演まで「山野ビッグバンド・ジャズコンテスト」最優秀賞を3年連続で受賞。大学では渡辺貞夫、小曽根真、山下洋輔に師事。卒業時に、最優秀者に送られる「山下洋輔賞」を受賞し卒業。小曽根真の推薦でパークリー音楽大学に特待生で留学、首席で卒業しNYで活動。2020年より活動を日本に移し渡辺貞夫、小曽根真の他、新進気鋭ミュージシャンとの共演が多い。



西口 明宏 Akihiro Nishiguchi (ts)

中学入学と同時にビッグバンドジャズに出会いテナーサックスを手にする。2006年、パークリー音楽院卒業後は活動拠点をニューヨークに移し、自己グループによるNYライブハウスでのレギュラー演奏、映像やダンスなど他ジャンルとの共演など多くのミュージシャンと出会い、セッションを重ねる。2010年、ニューヨークでの活動から東京に拠点を移し新たなプロジェクトを開始。現在は自身のグループFOTOSや、黒田卓也(tp)、中林薫平(b)、古谷淳(pf)、海野俊輔(dr)、Michel Reis(pf)ほか多くのグループに参加。2014年にブルーノート75周年記念ライブのメンバーに抜擢され、日野皓正(tp)、山中千尋(pf)、ロン・カーター(b)、ジーン・ジャクソン(dr)とのグループでブルーノート東京に出演し好評を博す。2017年には自身のサックストリオ(須川崇志(b)、石若駿(dr))でデトロイトジャズフェスティバルに出演、現在までにアメリカ、台湾、ルクセンブルクなどの多くの国際ジャズフェスティバルに出演する。

2010年にデビューアルバム「Tre agrable」、2013年には「PINGO」、2020年に自身が主催するグループFOTOS(ハクエイ・キム(pf)、ジェームス・マコーレー(tb)、吉良創太(dr)、マーティン・ホロウベック(b))にて3枚目のリーダーアルバム「FOTOS」をリリースする。



David Bryant デイビッド・ブライアント (p)

1983年NYブルックリン生まれ。音楽一家に育ち4才でピアノを始め、8才頃にはクラシックピアニストとしてその名を知られる存在となった。チェロ、トランペットも演奏し、三種の楽器で交響楽団で演奏した経験を持つ。名門ラガーディア高校に入学してジャズに出会う。オール・シティ・ジャズバンドのメンバーとなり、リンカーンセンター、エリントン・コンペティションではベストピアニスト賞を獲得。ニューヨークランド・コンサトリー大学に進み、ボストンでのこの時代の活動により一躍「新スターの誕生」という評価を受ける。

2005年NYに移り、クリスチャン・マクブライド、ウィントン・マルサリス、マーカス・ストリックランドなどのグループに参加しめざましい足跡を残している。今世界のJazzシーンで注目を集めているピアニスト。

須川 崇志 Takashi Sugawa (b)

群馬県伊勢崎市出身。11歳の頃にチェロを弾き始め、18歳でジャズベースを始める。ボストンのパークリー音楽大学を2006年に卒業。直後に移住したニューヨークで菊地雅章氏に師事。2009年に帰国後、幸島文雄トリオを経て日野皓正バンドのベーシストを6年間務める。現在は自身のトリオ、Banksia Trio(林正樹、石若駿)をはじめ、峰厚介カルテット、本田珠也トリオ、八木美知依トリオ他多くのグループに参加。これまでに東京ジャズ、デトロイト(米)、モントルー(スイス)、プリズベン(豪)、メールス(独)、香港などの数多くの国際ジャズフェスティバルに出演。近年は、Audi A5新車発表会での楽曲制作と演奏(2017)、岡本太郎記念館の企画展「日本の原影」のためのソロ楽曲制作(2019)や、俳優の金子あいの舞台「平家物語」に即興演奏で参加。米津玄師「ゆめうつつ」、YUKI「泣かない女はいない」(2021) などレコーディング参加作品も多数。また2018年にデビューアルバム作品「Outgrowing」(レオ・ジェノヴェーゼ、トム・レイニー)を、2020、21年に自身が主宰するピアノトリオ、Banksia Trio(林正樹、石若駿)で「Time Remembered」「Ancient Blue」全3作のリーダーアルバムをリリースしている。



【チケット情報】

横濱JAZZ PROMENADE Webサイト(jazzpro.jp) ※セブンイレブン発券(発券手数料はご負担ください)
関内ホールチケットカウンター(045-662-8411) 窓口販売・電話予約後取り引き・代引き発送販売
(営業時間:10時~18時・休館日を除く)

【主催・お問い合わせ】横濱JAZZ PROMENADE実行委員会事務局 045-211-1510

関内ホール KANNAI HALL

〒231-8455 横浜市中区住吉町4-42-1

JR・市営地下鉄「関内駅」、みなとみらい線「馬車道駅」下車。
横浜市営バス「馬車道」、神奈川中央・京浜急行バス「尾上町」下車。

